



飲料水の大腸菌・大腸菌群測定用

# ECブルー-MPNプレート「ニッスイ」

## ECブルー100/100Pとの組み合わせによりMPN検査を簡易に!

平成8年(1996年)に埼玉県越生町で発生した水道水を原因とした集団感染事例を発端に、「クリプトスポリジウム暫定対策指針」が示され、平成19年(2007年)3月には厚生労働省健康局水道課の健水発第0330005号、第0330006号(検査の方法)にて「水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針」の中に指標菌の検査方法として、大腸菌の定量検査(特定酵素基質培地法による大腸菌の定量=MPN法)が組み込まれました。

ECブルー-MPNプレート「ニッスイ」は、多くの試験管を用いる従来の煩雑な定量検査を、2ステップの簡易な操作で行えます。

### 特徴

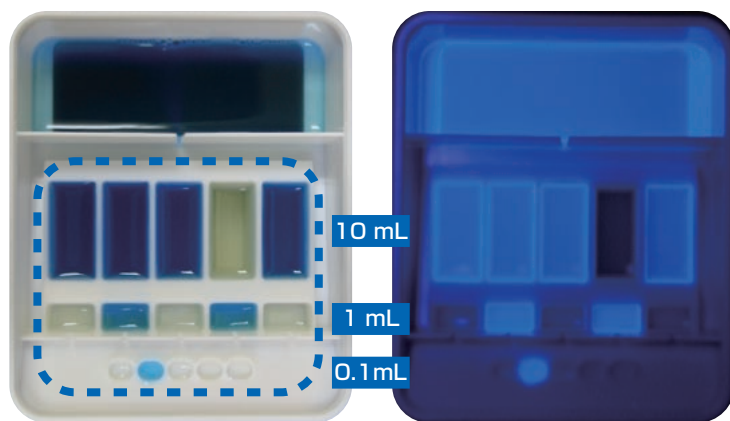
- ①コンパクトなサイズです(11cm(縦)x9cm(横)x5cm(高))
- ②10mL、1mL、0.1mLの5本法です。
- ③面倒な希釈操作は一切不要。検水を混和したECブルー溶液をデバイスに流し込むだけ。シール用の機器などは一切不要です。
- ④希釈操作の時間、試験管への接種の時間が節約できるため従来のMPN法操作に比べ、操作時間が大幅に低減できます。
- ⑤ISOの最確数法に基づいた試験方法です。結果もISO9308-2の最確数表を参照してMPNを求めることができます。
- ⑥デバイス内の検水に全く蛍光が見られない場合、生菌数1cfu/100mL未満が判定できます。

特許申請中!



### 使用法

- ①ECブルー100/100Pを使用し、検水を混和した100mLのECブルー溶液を調製します。
- ②調製したECブルー溶液100mL全量をプレート傾斜部(右図青破線部)に流し込みます。各ウエル(0.1mL容ウエル、1.0mL容ウエル及び10mL容ウエルの全て)がECブルー溶液で満たされているのを確認します。余分な溶液は液だめ(右写真では上部)に溜まります。
- ③付属のふたを置き、内容液をこぼさないように注意しながら恒温器に移し、培養は35-37℃で24時間行います。
- ④培養後、紫外線ランプを用いて波長366nmの紫外線を照射し、蛍光の有無を確認します。培地に対応する比色液よりも蛍光が強い場合は陽性と判定し、弱い場合は陰性と判定します。



上記の場合、10mL、1mL、0.1mLの陽性本数は、それぞれ4-2-1となり、MPN表より、26 cfu/100mLが得られます。

### 判定法

MPN表(最確数表)により菌数を求めます。

用途	品名	製品コード	包装	希望納入価	貯法
飲料水の大腸菌・大腸菌群測定用	ECブルー-MPNプレート「ニッスイ」	06517	セット個包装(本体及びフタ)x18<減菌済み>	14,400円	室温



製造発売元

日水製薬株式会社

〒110-8736 東京都台東区上野3-23-9  
URL : <http://www.nissui-pharm.co.jp>

お問い合わせ先 : カスタマーサポート  
Tel.03(5846)5707